

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174370	まちぐるみ観光推進事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	04	おもてなしの向上			
目的	観光客の満足度を向上させるため、まちぐるみでのおもてなしサービスを充実させる。					
対象	観光客					
意図	おもてなしサービスを充実して、観光客の満足度を向上させる					
事業概要	観光施設でのおもてなし事業実施 550千円 同心屋敷での湯茶サービス実施 市内各団体が行うおもてなしサービスへの支援 1,400千円 花巻温泉郷観光推進協議会事業への支援、宮沢賢治「産湯の井戸」公開事業への支援 観光案内所の充実 7,000千円 花巻観光案内所運営事業への支援 観光地等でのおもてなし事業 1,819千円 観光ガイドの育成、おもてなし研修事業の実施、郷土芸能お披露目					
市民参加の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	観光ガイドの人数	人	計画	25.00	20.00	
			実績	13.00	9.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	対応やおもてなしに満足した観光客の割合【観光客アンケート】	%	目標	90.00	90.00	
			実績	95.10	95.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
市内の民間団体による観光客へのおもてなしサービスの継続実施が達成につながった要因と考える。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	民間による取り組みが充実できれば行政の関与は不要であるが、現状では取り組んでいる団体・個人に対し財政支援等が必要である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	市民が観光地理解度を醸成させて観光客と接することにより、観光客の満足度はさらに向上される。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	民間による取り組みが充実されることにより事業費の削減が図られる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	リピーターの増加が観光客入込数の増加につながり、観光客入込数の増加は花巻市全体に受益を及ぼす。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	花巻への観光リピーターの増加を図ることが概ね出来た。
	次年度に向けて	今後も、「来てよかった」から「また来たい」と思ってもらえるよう、まちぐるみのおもてなし事業を継続的に展開する必要がある。